

みらいん

たいはく

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。

第 10 号



◀子どもの頃の思い出や
仮設住宅での近況を、
笑顔を交えておもしろお
かしくお話しする小林さん

今月の
ひと

米寿を迎えて、ますます元気

仮設住宅の生活を楽しむおばあちゃん

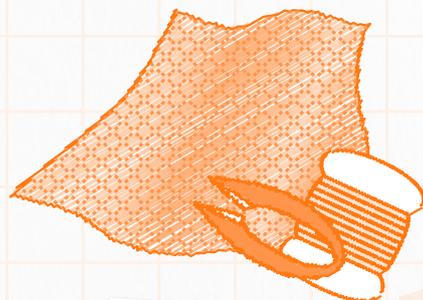
お裁縫の腕前はいまだ衰え知らず

あすと長町仮設住宅で暮らしている小林智恵さんは、大正14年生まれ。今年8月の誕生日に87歳、数えて米寿を迎えた元気なおばあちゃんです。出身は名取市閑上。本人いわく、子どものころから“おてんば”だったとのこと。実家のお寺にあった大木に登ったり、裸馬に乗って浜辺を散歩したりと幼少期の楽しかった思い出を、今も隅々まで鮮明に覚えているそうです。また昔から縫い物上手で、和裁と洋裁どちらも得意。

現在も反物から着物を仕立てて、その端切れで前掛けなどをこさえます。4年ほど前から太白区郡山で暮らしていましたが、震災で自宅が半壊。仮設住宅に来るまでの2ヵ月間、避難所での生活を体験しました。

「避難所生活は大変だったけど、たくさん人がいたので寂しくなかった。おしゃべりが大好きだからね。お口にチャックができないんだけど」と、小林さんはいたずらっぽく笑います。

本音では、住み慣れた家に帰りたいとの思いもあるようですが、「今は皆さんと一緒に、毎日楽しく暮らしたい」と話していました。



2012

9月

シルバーエイジ



はなこ 村井 華子さん

太白区長町出身



今はやめてしまったけれど、昔はアウトドア派だったの。若い時は山歩きや釣りをしていたし、スキーなんか50歳から始めたのよ。

何かに夢中になると、寝ないで作業に没頭しちゃう時もあるの。周りの人に心配されちゃうこともあるけれど、楽しいと、つい夢中になっちゃうのよね。

一番のお気に入りという自作の花瓶を手に、笑顔の村井華子さん。最近凝っているという陶芸を始め、布草履づくりや編み物などの手仕事が好きです。「作るのが遅いから、完成した時にすごく達成感があるの。出来ないと思っていたことが出来るようになるのは面白いわね」と、語る村井さん。新しい技術を習うため、仮設住宅でのイベントに積極的に参加しています。

村井さん作の布草履と陶芸作品。「自分なりの工夫を加えるのが好き」という村井さんは、布草履の裏にポケットを付け、小物入れにしました

きいち 伊東 喜一さん

若林区藤塚出身



民謡や三味線の大会には、東北6県を中心に年に15、6回は出場してるんだよ。9月は「新相馬節全国大会」、10月は「相馬民謡全国大会」に出場する予定なんだ。

前に仮設住宅でのイベントに飛び入り参加して、三味線で弾き語りをご披露したんですよ。あがり症なんだけど、思わず血が騒いでしまってたねえ。楽しかったなあ。

震災後から野菜づくりを始めて、今はトマトやナスなんかを育ててるよ。成長を見るのがすごく楽しいね。収穫した野菜は友達におすそ分けしてるの。今朝もトマトを届けてきたよ。



山川さんが大事に育てている野菜。毎朝の成長チェックは欠かせません

「趣味を楽しむことが元気の秘訣だ」と語る伊東喜一さんの趣味は民謡と三味線の演奏です。中でも一番好きなのは、全国で行われる民謡の大会に出場し、そのでの出会いも楽しみのひとつです。「全国に友達がいるんだよ」と、笑顔の伊東さん。民謡を出すことがストレス発散にもなっています。

愛用の三味線は…



伊東さん愛用の三味線は3月11日の津波で流失してしまいました。それを知った伊東さんの民謡仲間がインターネットで呼びかけると、伊東さんの元に富山県在住の方から三味線が届けられました。「おかげで三味線を続けられているんです」と、伊東さん。生活が落ち着いたら、富山県にお礼に行くことが伊東さんの夢です。

まこと 真壁 真さん

南三陸町志津川出身



11月に2人目のひ孫が生まれるんだよ。まさか自分がひ孫の顔を見るまで生きてるとは思わなかったなあ。今から楽しみだ。

魚拓とか、魚がモチーフの陶芸作品は作るけど、魚はあんまり食べねえんだ。魚は捕るのが好きだね。志津川に住んでいたけど、アワビもウニも食べたことねえなあ。



真壁さんの陶芸作品。カレイを模した皿を作りました。新作のマンボウ型の器は現在素焼き中です

志津川に住んでいた時は、釣りや日曜大工が趣味だったという真壁真さん。現在も志津川で鮭の孵化・放流事業に携わり、志津川と仙台を往復する日々を送っていますが、仮設住宅のイベントへは積極的に参加しています。そのおかげで陶芸や料理、農作業や絵画など、仮設住宅入居後に趣味がたくさん増えました。「元々、自分で何かを作るのが好きなのもあって、皆とおしゃべりも出来るし、勉強にもなるし、楽しいから疲れないよ」と、元気な真壁さんです。



集会所に飾られている魚拓と、海の絵は、実は真壁さんの作品。絵の題材は、よく釣りに行っていたという名取市開上の港です

佐々木 はつよさん

太白区緑ヶ丘出身



人と話すのが好きだから、つい、いろいろな人に「ちょっとうちでコーヒー飲んでいかない？」と声をかけちゃうのよ。おかげで、コーヒーの消費量がすごく多いの。

嫌なことはぶん投げちゃうわ。人生はなるようにしかならないから、なるべく前を向いて生きていきたいの。



コーラスで使用している佐々木さん愛用の楽譜

「好奇心が旺盛だから、外に目を向けて、何にでも関心を持つようにしているの」と語る佐々木はつよさん。趣味は、縫い物とコーラスです。コーラスでは太白区の区民まつりなどに参加。25年ほど前から公園の清掃活動などをするボランティアもしています。「いろいろな仲間がいるから、毎日楽しく過ごせるの」と、うれしそうな佐々木さんです。

しょうじろう 山川 昭次郎さん

山元町出身



「努力」って言葉が大好き。生きるということ自体が努力をすることだと思うよ。いくつになっても勉強することって大事だよ。

自分の中の見聞を深めるため、いろいろな場所に出掛けるのが好きなんだ。思い出深いのは、24歳の時に初めて行った北海道の札幌市。すごく都会で驚いたなあ。今、一番行ってみたいのは台原森林公園だね。

山川昭次郎さんは、週に1回はカラオケ屋に足を運ぶほどのカラオケ好きです。「歌はストレス発散にもなるからね」という山川さん。最近の目標は、できるだけ長生きすることです。健康のため、1日1回は外の空気を吸うように心がけています。

8日(日) 「元気届け隊」が来た!



地域の人たちに元気を届けるチアリーダーチーム「クラブス」のメンバーで構成する「元気届け隊」が、仮設住宅を訪問。夏祭り披露するダンスを、仮設住宅に住む方たちと一緒に踊りました。参加者の方たちもノリノリで練習していました。

16日(月・祝) 「笑顔塾」で笑顔に

「長町まざらいん」と「あすと長町仮設住宅自治会」による共同企画「笑顔塾&ふれあいコーヒーサロン」が、集会所で行われました。2回目となる人気企画で、今回も多くの人たちが参加。カウンセラーによる笑顔になるための講座とストレッチ体操を楽しんでいました。



20日(金) 皆で七夕飾りづくり!



郡山コミュニティセンターで、郡山在家町内会と福祉型仮設住宅「なつぎ塾」、仮設住宅にお住まいの方々で七夕飾りづくりが行われました。お昼には町内会の腕自慢たちによる手料理も振る舞われ、参加した方々は会話を楽しみながら作業を進めていました。

28日(土) 踊らにゃ損々!

「佐那河内すだち連」による阿波踊りと、「伊達雀」による雀踊りが披露されました。すだち連は徳島県の団体です。本場の阿波踊りに観客が見入っていると「皆さんもいっしょに踊りませんか」との声が。「踊る阿呆に見る阿呆。同じ阿呆なら踊らにゃ損々!」という掛け声とともに、観客も加わり、踊りの輪を広げていました。



10日(火) 華道教室



華道教室が開かれました。講師は、以前集会所の常駐職員をしていた鈴木隆蓮さんです。生ける際、ためらいなく花を切る鈴木さんに、参加した方から「そんなに切っちゃっていいの?」との声。すかさず鈴木さんが「あら、女は度胸よ」と答え、参加した方たちの笑いを誘っていました。

17日(火) おしるこカフェ

今年1月から定期的開催されている「アート・インクルージョン」によるおしるこカフェ。気温の高かったこの日は、おしるこの他、大根おろしと餅をからめたからみ餅、冷たい甘酒が振る舞われました。「たくさん召し上がってね」という声に、参加した方から「はい!」と元気な返事があがっていました。



24日(火) アニマルセラピー



「専門学校アニマルインテラーカレッジ」主催のアニマルセラピーが開かれました。やって来たのはトイプードルのゆいちゃんとララちゃん。参加した方は、ふわふわとした毛並みを撫でながら「可愛い。ぬいぐるみみたい」と、目を細めていました。

29日(日) ラジオ体操&キャラクターショー



「ラジオ体操・みんなの体操」の指導&実演が、広場で行われました。夏の日差しが照りつける中、参加した方たちは真剣に体操に取り組み充実した時間を過ごしていました。その後はキャラクターショーも開催。多くの子どもたちが声援を送っていました。

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいの方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

明日の三本塚を考える会

東六郷地区における農地と宅地の一体的な整備や住民主体のまちづくりを目指しています。

7月28日(土) 第5回六郷東部地区住まいまちづくり学習会

- 丸森町の農家・八島哲郎さんのお話
- 三本塚のほ場整備に関する情報

当日の様子 丸森町の農家・八島さんは、自営の「いななか道の駅やしまや」を運営しています。収穫したタケノコや干し柿をつかったオリジナル商品を開発販売しています。八島さんの事例や考え方などを聞き、「農家は作るのには上手だけど、売るのは下手ですね」の言葉に、集まった人は大きくうなずいていました。小野代表からは、三本塚の圃場整備に関して、白地が25%あり、整備後は畑に換地することも協議していることが報告されました。



▲独自の取り組みについて笑いを交えながら話す八島さん

問い合わせ先: 代表 小野吉信 090-3122-4843
会議、学習会は自由参加、随時開催

南蒲生復興部

個々の生活再建と南蒲生の復興を迅速に進める為、町内会から権限の委譲を受けて、移転・現地再建グループがそれぞれ話し合いを進めています。

8月2日(木) 移転再建・現地再建希望者の集まり

- 住民の質問へ、区画整理課担当からの回答
- 移転再建・現地再建に分かれての意見交換

当日の様子 意見交換の場では、現地再建グループのリーダーに就任した阿部勇さん、我妻正一さんの2人が中心となって話し、住む人達の安全確保が先決という共通認識でまとまりました。移転再建グループのリーダーは遠藤林治さん。それぞれが移転希望地を紹介しあうと、新たな候補地である上岡田・久保野、平柳地区希望者が半数を占めることが分かりました。移転先の具体的な費用が不明瞭なため、まだ決めかねている方も多く見られました。今後は住み良い移転地にするべく、意見を出していくことに加え、行政への要望を同時進行で進めていく方向で話し合いが持たれます。

問い合わせ先: 代表 芳賀正 090-4042-9464
事務局会議: 毎週水曜日 18:30~ 岡田西町仮設住宅集会所
住民説明報告会: 毎月最終日曜日 岡田会館

新浜復興の会

住民の心の復興、迅速な情報提供、今後も安心して新浜に住み続けられる地域づくり、移転を決断した仲間を尊重する、といった活動方針に沿って運営しています。

8月11日(土) 第19回世話人会議

- 現地再建グループの意見交換会(8月4日)の内容報告
- 移転再建グループの集い(8月5日)の内容報告
- アンケート実施に関して、設問項目の確認

当日の様子 移転再建グループは、新たな候補地として名前の挙がっている「上岡田・久保野、平柳地区」を移転先と見据え、実現に向けての第一歩を踏み出しました。グループのリーダーとなった瀬戸健介さんからは、「8月5日の会合では多くの参加者から『自ら動いていこう』という前向きな意志が感じられた。今後は南蒲生地区など、新浜地区以外の移転希望者も交えて会合を進めていく予定です」との報告がありました。一方、現地再建グループの復興まちづくりは、今後町内会と連携して進められます。

問い合わせ先: 代表 遠藤芳広 090-2020-4002
世話人会: 毎週土曜日 18:00~
福田町南1丁目公園仮設住宅集会所

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

● 昨年からずっと続いていたボランティアのイベントが、今月で最終回を迎えました。毎月来て頂けるのを楽しみにしていたのでとても残念です。最近はこのように仮設住宅へ訪れる方が少なくなっているような気がして、少し寂しく感じます。
太白区/門馬さん

● 震災後、いろいろな人との出会いがありました。沿岸部は地域のつながりが深いので、出会った人が実は縁戚だったとか、共通の知人がいたということも多いんです。私は若林区ですが、みらいのみやぎの版を入手して知人の情報を得ています。
若林区/M.Aさん

● ここ、和木の阿部酒屋には何十年も飲みに来てるんです。店主の八重ちゃんにはお世話になってるのよ。津波の時も、「頑丈だからこの屋上に来い」と言われて助かったんだよね。今は我慢して苦労して暮らしている人も多いよね。皆、言いたいことはたくさんあるはずだけど、昔のように仲良く暮らせることを願っているよ。
宮城野区/横浜さん 高山さん

リポート・近所ぶらり

取材したのは…

プロバスケットボールチーム 仙台89ERS

活動休止に陥りながらも
チームは見事に復活

大粒の汗を滴らせ、コートを駆け回る。リズムカルなドリブル、激しいディフェンス、華麗なシュート…。訪れた七月末、仙台89ERSの選手は暑さをもとめせず、黙々と練習に励んでいました。

あすと長町一丁目にある「HAL EODーム」。昨年六月に誕生した東北初のバスケットボール専用コートを拠点に、選手たちは連日戦いに備えています。

震災ではチームも「被災者」になりました。ホームの仙台市体育館の屋根がはがれ落ちるなど、試合の開催が困難になり、シーズン途中で活動を休止。選手は契約解除となり、移籍を余儀なくされたのです。そんな苦境にあっても選手やチアーズら球団は「今まで応援してくれた地元の方に力になりたい」と、五十カ所以上の避難所、仮設住宅などを慰問。そこでかけられた言葉は「また試合



「勝ってファンを喜ばせたい」との一念で厳しい練習に励む選手たち

を見たから頑張ってる！」。球団広報担当の川村重紀さんは「被災者を励ましに行ったのに逆に私たちが励まされました」と振り返ります。

チームは全国二万人以上の署名の支援を受けて、二〇一一年一二シーズンに復活。震災後、琉球ゴールデンキングスに移籍していた仙台出身の志村雄彦選手は「たくさんの人の支えで、またこのチームでプレーできる。震災後、自分のためではなく、支えてくれたファンや地域のためにバスケットをしたいと強く思うようになった」と話します。

あすと長町の新アリーナで
いよいよ今シーズン開幕

今季のホーム開幕戦は十月十三、



今季のホーム開幕戦が行われる「ゼビオアリーナ仙台」の完成予想図

十四の両日、HAL EODーム北隣に完成する「ゼビオアリーナ仙台」で行われます。鉄筋コンクリート三階建ての新アリーナは、延べ床面積約一百万平方メートル。バスケットの場合、約四千人の観客を収容できます。仙台出身で、〇五年のチーム創設時から所属する日下光選手は「スポーツで地域を盛り上げることが、僕たちの使命。そのためにもホーム戦は絶対勝ちたい。(あすと長町仮設住宅からも近い)アリーナ完成を機に、一人でも多くの人に試合を見に来てもらいたい」とPRします。

取材を担当した私たち女子大生三人は、プロバスケットを間近で見ると初めて。そのスピードと迫力に魅了された。その名が由来する89ERS。震災で強まった市民との絆を力に、今季はさらに熱いプレーを見せてくれることでしょう。

【仙台89ERS】
ホーム開幕戦は9月1日チケット販売開始。チケットは大人2500円、小中学生1000円から。公開練習日はチームのホームページなどで確認できます
<http://www.89ers.jp/>



広報・川村さん(右端)の説明を聞く私たち取材スタッフ

されました。チームは試合以外にも月二〜三回、練習の様子を一般公開しています。まずは散歩がてらに公開練習を眺めてみてはどうでしょう。そうしたらきっと、私たち同様、「必ず開幕戦を見よう！」という気持ちになるはずですよ。

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

萩まつり

野草園で行われる秋恒例の催しです。期間中は仙台市の花「萩」を愛でながら、さまざまな催しに参加できます。

時 9月15日(土)~30日(日)9:00~16:45(最終入園16:00)

場所 野草園(太白区茂ヶ崎2-1-1)

入場料 大人200円、小・中学生50円

期間中の催し 15日(土)野点・草笛、開会式(すずめ踊り)

16日(日)野点、ハーモニカ演奏 17日(月)野点、琴・尺八演奏

22日(土)茶会、仙台フィル室内楽 23日(日)野点、篠笛

29日(土)花の詩の集い(童謡) 30日(日)バイオリン&ピアノコンサート、市民月見の会(親子茶会)、オカリナ演奏

※催しの詳細は下記にお問い合わせください

☎ 022-222-2324 野草園

とみざわマルシェ

昨年大好評だった復興野外市場「とみざわマルシェ」の2回目が開催されます。宮城県を中心とした地元の農産物、水産加工品、パン、スイーツなどのフード類、手作り雑貨、家具、焼き物などの雑貨類などを販売するブースが70店以上出展。ライブ演奏やカフェスペースもあり

ます。

対象 どなたでも来場できます

時 9月23日(日)10:00~15:00

場所 富沢公園(仙台市体育館隣)

内容 食品や雑貨などを販売するブース、飲食ができるカフェスペース、ライブ演奏スペースなどを用意

☎ 022-245-1070 三栄会事務局

ハンドケアボランティア募集

被災女性の団体によるボランティア活動です。午前中にプロの講師によるハンドケア法を学び、午後から被災された方にハンドケアを実践します。

対象 18歳以上でボランティア保険加入の方

時・場所 9月12日(水)石巻市万石浦公園仮設住宅 9月17日(月・祝)仙台市あすと長町仮設住宅 9月19日(水)石巻市開成地区第11仮設住宅 9月22日(土・祝)石巻市大橋仮設住宅 9月25日(火)仙台市仙台港背後地6号公園仮設住宅 9月29日(土)石巻市大森地区第2仮設住宅

申込方法 ホームページ申込フォームより

☎ 090-4887-1977 杜の都チームドルフィンドリーム(天野)

Web: <http://www.dolphindream.jp/idta/1000project.htm>

出前講座を行っています(無料です)

東北財務局では、お近くの集会所や市民センターなどにお伺いし、金融犯罪被害に巻き込まれないよう、日ごろから心がけてほしいことなどを、分かりやすく説明する出前講座を行っています。お気軽にお問い合わせください。

対象 どなたでも利用できます

講座メニュー・未公開株や社債などのあやしい投資勧誘

・ヤミ金融や振り込み詐欺

・私的整理ガイドラインや多重債務相談など

☎ 022-266-5703(直通)、022-263-1111(内線3080) 東北財務局 金融監督第三課(青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎4階)

深沼海岸清掃ボランティア募集

深沼海岸の歴史のお話を聞いた後、深沼海岸の清掃を行います。参加するボランティアを募集中です。

時 9月16日(日)9:00~14:00

七郷市民センター1階和室集合(若林区荒井字堀添65-5)

用意するもの 軍手、携帯ラジオ(お持ちの方)、昼食。ケガ対策・熱中症対策などは各自お願いします

※ボランティア保険は要事前加入

☎ 090-3385-5567 NPO法人みやぎ災害救援ボランティアセンター/KIDS NOW(長山)

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所) ※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
9月11日(火) 10:30~12:00	仙台ほっとカフェ	仮設住宅入居者	仙台いのちの電話事務局 022-718-4401
9月11日(火) 13:30~15:30	遊びリテーション みんなで生き生きレクリエーション	仮設住宅入居者	太白区レクリエーション協会 090-5594-5008(中島)
9月11日(火) 18:30~21:00	陶芸教室 ※材料費1000円 事前申込不要	仮設住宅入居者	陶芸愛好会 090-4633-0331(渡邊)
9月12日(水) 14:00~15:00	アニマルセラピー	仮設住宅入居者	専門学校アニマルインターカレッジ 022-216-4211(齋藤)
9月19日(水) 13:00~16:00	糸あそびの会	仮設住宅入居者	色業工房 090-9072-2160(庄子)
9月20日(木) 9:00~16:00	マッサージ・エステ・ネイル他 自社制作アニメ映画上映会(ゾーケン)、ミニコンサート	仮設住宅入居者	3-1の遠藤まで
9月22日(土) 13:00~15:00	おしるこカフェ	仮設住宅入居者 近隣の方	アート・インクルージョン実行委員会 080-4357-7035(門脇)
9月24日(月) 13:30~15:00	心の悩みを聴く おしゃべりとお茶の時間	仮設住宅入居者	仙台傾聴の会 080-3199-4481 (森山/火・木・土曜日 9:00~17:00)
9月25日(火) 13:00~15:30	華道部	仮設住宅入居者	ほほえみ花活隊 090-4643-7499(鈴木)
9月25日(火) 13:00~16:00	手芸教室 ※材料費100円 事前予約すると確実です	仮設住宅入居者	仙台市郡山老人福祉センター 022-308-5332(千葉)

地震も津波も集中豪雨も竜巻も、ただの自然現象です。それが災害と化するのにはそこに人間が住むからです。海に出て漁を生業とする人は海辺に住み、農耕に従事する人は氾濫の度に田畑が肥える河川の傍に住みます。その方が便利だからです。かつて先祖がそのために犠牲になつたといふ史実があつたとしても、津波や洪水が怖いからと云つて山側の高台に暮らすわけには行かないのです。

田舎の寺は、どこもそんな先祖伝来の土地に不条理さを感じつつも、慎ましかに暮らす民衆と共にありました。寺は今、被災された方々の心の、そして身の支へになつてゐるでせうか。寺族の三人もが津波にさらはれ、お檀家衆も沢山亡くなり、本堂も庫裏も墓所も跡形もなく消失。それでも四箇月後のお盆には、プレハブの仮説教所を急ぎ建てて法要を勤め上げた真宗寺院が気仙沼にあります。日頃の親密な檀家と寺の関係が目に見えます。皮肉にも、現存してゐる日本仏教のほとんどが天災や疫病や内戦や大火や飢饉で、我が国の歴史上最悪と云はれた鎌倉時代にこそ誕生してゐるのです。

徳照寺 住職 佐藤和丸

佐藤和丸 (さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

1	2	3	4		
			C		
5		6	7		
		8	B		9
10	11			12	13
14			15	F	
	16			17	18
	E				D
19			20		
		A			

タテのカギ

- ①これから収穫の秋。宮城米の代表的な品種といえば
- ②ネコが研いだり、ひっかいたり
- ③カレー粉の原料、黄色の染料、漢方薬などになる草
- ④かつての大河ドラマ『〇〇の木は残った』のゆかりの地である柴田町。町の木も、〇〇の木
- ⑦仙台市の熱気あふれる一大イベント、みちのく〇〇〇〇まつりは、10月6～7日の開催
- ⑧アルカリ性の反対は、〇〇性
- ⑨角田市の木。堅くて、ドングリの実がなります
- ⑩塩釜水産物仲卸市場内で食べる、マイ〇〇〇〇丼は観光客に大人気
- ⑬仙台市の木。定禅寺通りにある並木でおなじみ
- ⑮俗に、〇〇〇は損気
- ⑰〇〇字は歓迎され、〇〇星は嫌がられます。同じ色が入りますが

ヨコのカギ

- ①〇〇〇〇は発明の母
- ④蔵王町で梨と並ぶ名産のくだもの。町の花も、〇〇の花
- ⑤9月15～16日、〇〇市で開催される、とよま秋まつり
- ⑥カレンダーを日本語で
- ⑧宮城県ゆかりの民謡、祝い唄。『〇〇〇時雨』
- ⑩空母といえば、航空〇〇〇のこと
- ⑫9月1～2日に鳴子温泉郷で開催された、全国〇〇〇祭り
- ⑭柔道などで聞かれる、「〇〇に始まり〇〇に終わる」
- ⑮クルマや自転車でパンクするのは?
- ⑰渡る〇〇〇に鬼はない
- ⑱秋の代表的な花。富谷町の花にもなっています
- ⑲宮城県が国内最大の養殖産地。食卓でもおなじみの〇〇鮭
- ⑳名取駅から仙台駅を見た方向

前回のこたえ

A ス B イ C カ D ワ E リ
でした。

1	オ	コ	ナ	イ	シ	ソ
5	ド	ウ	カ	オ	ス	
8	リ	ノ	ウ	コ	ウ	ヒ
	12	ト	ミ	サ	ワ	ヤ
14	ハ	エ	リ	イ	ナ	シ
	ナ	コ	イ	ウ	タ	
18	ビ	カ	ン	シ	ネ	マ

編集後記

今回の取材でたくさんの高齢者の方たちとお話させていただきましたが、そのパワフルさに終始圧倒されました。皆さんより多少“若者”の自分も少しは見習わないと。(さいとう)

陶芸教室に参加し、抹茶茶わんを制作しました。なかなかの出来栄えだと思っていたのに、出来上がりを見た人からは「それ、どんぶり?」の声の嵐。…はい、これはどんぶりです。(あつみ)

●●●● お住まいを移転される方へ ●●●●

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛 先: 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL: 022-390-5755
FAX: 022-390-5756 e-mail: kawara@mmmm.or.jp